

トヨタホーム 新商品「シンセ・カーダ モード」を発売 - 60年保証の「長寿命住宅」+ 実質CO₂ゼロの「環境配慮住宅」 -

トヨタホーム株式会社は、日本の住宅の重要課題である寿命の短さ、地球環境への対応をテーマに開発に取り組み、画期的な長寿命化、大幅な環境負荷低減を実現した住宅「シンセ・カーダ モード¹」を商品化、4月26日(土)より発売する。

本商品は、

鉄骨に徹底した防錆対策を施すとともに、基礎の高耐久化により、従来にない長寿命化を実現。冷暖房、給湯などの使用によって家庭から排出されるCO₂量を、1990年以前に建てられた一般的な住宅に比べ、約46%削減。さらに太陽光発電システムの搭載により、CO₂を実質ゼロとすることが可能。

- の2点を主な特徴としている。

長寿命化の実現を受けて、「最長60年」という長期の保証と、家がある限り続く生涯点検を行う「アトリスプラン²」を新たに導入した。

なお、この「アトリスプラン」は、鉄骨ユニット工法の“シンセシリーズ”全商品に導入する。

1 「カーダ」：スペイン語で「それぞれの」を意味。また「モード」は、商品コンセプトである「MODERN DESIGN×ECO DESIGN」の頭文字をとったもの

2 「アトリス(ATOLIS)プラン」：「ALL TOYOTAHOME LIFE SUPPORT」の頭文字をとったもの。

日本の住宅の寿命が欧米に比べて極めて短いことはよく知られている。何年も経つと建物の資産価値が認められなくなったり、家族構成の変化への対応のため建て替えるなど、理由は様々あるが、大きな理由のひとつに住宅そのものの劣化がある。一方、地球温暖化問題が年々深刻化し、京都議定書で国別のCO₂削減目標が定められ、家庭でもCO₂排出量の削減に配慮すべき時代となってきた。トヨタホームは、こうした重要課題に真正面から取り組み、多くの技術を結集させて、「シンセ・カーダ モード」を“長寿命・環境の時代に応える住まい”として提供することにした。

新商品「シンセ・カーダ モード」の概要は、以下のとおり。

1. 商品特徴

(1) 「シンセ・カーダ モード」長寿命化のポイント - 「長く住める家」

鉄骨住宅の耐久性の鍵である構造体の防錆性能の向上及び基礎の高耐久化

- ・ 鉄骨の部材加工後に防錆塗装(カチオン電着塗装)を実施するため、梁孔や細部までしっかり防錆が施されている。

- ・ 作業環境の良い工場で、鉄骨をユニット単位まで組み立てることで、工事現場での構造体のキズを防止。
- ・ 壁内部に比べて錆びやすい床下には、「高耐久メッキ鋼板 + カチオン電着塗装」で防錆を強化。試験では60年を大きく上回る耐久性を確認。
- ・ 基礎コンクリートの配合を見直すことで、中性化対策を実施し、耐久性を向上。

大地震後も住み続けられる高い耐震性

- ・ 125mm角の太い鉄骨柱(100mm角の鉄骨柱の約2倍、125mm角の木材の約4.3倍の強度)と、柱・梁接合部の変形防止プレート(ダイアフラム)、優れた溶接技術によって、標準仕様でトップラックの「耐震等級3」の基準を大きく上回る強さを実現している。

鉄骨ラーメン構造による優れた可変性(リフォームしやすさ)

- ・ 一般的な住宅では、将来のライフスタイルおよび家族構成の変化に応じてリフォームする場合、外壁や内壁の筋交いや耐力壁が支障となり、間取り変更や窓位置の変更など、大掛かりなリフォームが難しいケースがある。鉄骨ラーメン構造のトヨタホームは、筋交いや耐力壁が一切不要なため、ライフスタイルの変化や家族構成の変化にも柔軟に対応できる。(一般的な軸組工法では、外周長40mのプランで、1階に約20mの耐力壁が必要)

(2) 「シンセ・カーダ モード」環境対応のポイント - 「環境にやさしい家」

実質CO₂ゼロ(カーボンニュートラル)の環境性能

一般的な日本の住宅は、冷暖房、給湯、照明・家電の使用などによって、年間約4.4t-CO₂ものCO₂を排出しているが、トヨタホームはこのCO₂の排出原因それぞれに対策を施している。

冷暖房からのCO₂を削減

- ・ 断熱材の充填方法や高性能断熱材、高断熱ペアガラスの採用など、熱の出入りする部位にそれぞれ対策を行うことで、断熱性能を大幅に向上。旧省エネ基準の家に比べて、熱損失を約60%カット。
- ・ 防犯性と通風を両立した、「エアリーガード」(グループ会社のアイシン精機(株)と共同開発)によって、窓を開けての就寝や外出が可能となり、通風によって室内温度の上昇を抑制。「エアリーガード」がない場合との温度差は、夏のリビングで最大8℃。それによって、冷房必要日数を115日から82日に低減できる。
- ・ 吹抜けや地窓、見上げ窓、トップライトなどを効果的に配置し、熱を上部から排出する。

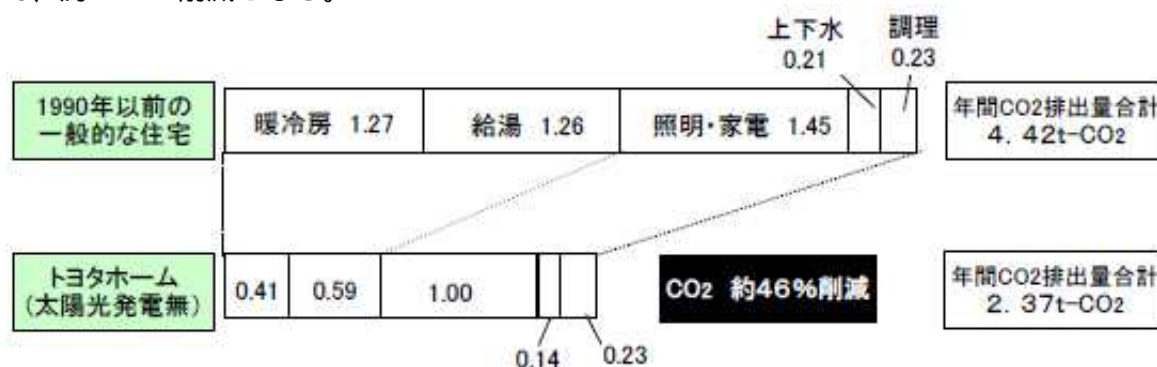
給湯からのCO₂を削減

- ・ グループ会社の(株)デンソーおよび(株)コロナと共同開発し、風呂の保温制御方法などをオリジナル化した「エコキュート」によって、給湯からのCO₂排出量を半減。

照明・家電からのCO₂を削減

- ・ 電球型蛍光灯や調光器具など、省エネ照明を採用。特に、長時間を過ごす居室では消費効率の高い照明器具を採用することで、白熱電球に比べて約1/4の電力に抑えられ、CO₂排出量を低減できる。

これらの対策によって、トヨタホームのCO₂排出量は、1990年以前の一般的な住宅に比べて、約46%削減となる。



創エネルギーによるCO₂の削減

- ・ 変換効率を改善し、出力を向上させた「太陽光発電システム」を搭載することで、実質CO₂ゼロを達成することができる。

(3) 外観デザイン

- ・ 2004年4月に発売した「シンセ・カーダ」が持つ、モダンで上質なデザインは踏襲しながら、親世代との同居を考えた3階建てと郊外型の2階建てを設定。
- ・ 自然素材をモチーフにした外壁色を使ったツートーン外観。
- ・ 自然石の風合いを持つ、厚さ20mmの「縦石柄外壁」。
- ・ 建物と統一された外壁材を使用することで一体感を持たせながら、プライバシーと開放感を両立したフロントヤードを作ることができる「エクステリアウォール」。通風タイプや壁面緑化タイプなど、バリエーションも豊富に設定。

(4) インテリア(空間)デザイン

- ・ 豊かな暮らしを実現するため、生活空間を充実させる「エクスブロック」というプランの考え方を採用。敷地にゆとりのある郊外では、中庭をはさんで和室や客間として活用したり、敷地の狭い都市部では、3階に大きなバルコニーに面した子供部屋や趣味室とするなど、それぞれの家族に合わせた空間利用が可能。
- ・ シンプルで落ち着いたある、上質なインテリア「I-コーディネート」を新たに設定。ライト、ミディアム、ダークの3パターンを用意。

(5) 防犯性能の更なる強化

- ・ 自動車実績のあるイモビライザーを応用した、防犯性の高い玄関ドア電気錠「ラ・ロック」を標準設定。電気錠として初のCP認定³を取得した高い防犯性を持ちながら、キー

をかざすだけでドアの施解錠ができるため、操作も簡単。トヨタ・ダイハツのイモビライザー搭載車種のキーでもドアの施解錠が可能。

3「CP」：「防犯」を意味する英語「Crime Prevention」のイニシャルで、厳しい性能試験にパスした防犯性能の高い建物部品に与えられる標章。

2. 本体価格 代表プラン(延床面積140.89㎡)で、坪(3.3㎡)当たり56.8万円(税込価格)。

<アトリスプラン>

トヨタホームの企業スローガン「人生をいっしょに」を具現化する生涯サポートシステム。

下図のように、3つの柱で成り立っている。

業界トップクラスの「60年長期保証」

初期保証⁴と、定期的な点検と適切なメンテナンス(有償)を実施し、保証延長⁵することで、最長60年の保証を実施。

4「初期保証」：期間は部位によって異なるが、構造体・基礎においては30年、屋根・壁・床は20年、防水は10年。

5「保証延長」：保証の延長には、トヨタホーム販売店が実施する定期的な点検と、適切なメンテナンス・補修(有料)が必要となる。

住まいがある限り続く「生涯点検」

保証の有無にかかわらず、住まいがある限り5年毎の点検⁶を実施し、適切なメンテナンス(有償)を提案。

6「点検」：30・40・50・60年目は原則有償。他は無償。

暮らしを支える「ライフサポート」

オーナーズデスク⁷、リフォームローンなどの金融サポートや「住まいのお手入れセミナー」などオーナー様向けの各種イベント等、暮らしに役立つサービスを提供。

7「オーナーズデスク」；オーナー様専用相談窓口(フリーコール)。



以上